



親愛なる横浜 GRITS の皆さんへ。

横浜 GRITS 始まりの2年間、信じられないような旅をさせていただいたこと、深く感謝申し上げます。

私たちは厳しい環境の中で新しいチームを立ち上げ、「GRITS: グリッツ」という名前の通り、アジアリーグに新しいチームを送り込むために懸命に戦いました。私たちの経営陣やスポンサーは、まさに「GRIT: グリット」の意味する、「決してあきらめないこと」「最後まで戦い抜くこと」「自分の持っているものをすべて出し切ること」を示し、それが史上最も困難な新規事業の始まりの時期を乗り越えたのです！

私自身は、氷上でチームが競争力を発揮できるように全てを捧げました。選手やコーチは日本最高峰のリーグで戦いながら、氷上とはまた別での仕事のキャリアを追求するという課題を、グループとして理解していました。選手、スタッフ、そしてボランティアの人たちのおかげで、競争力を高めることができたことを大変誇りに思います。

チームは成長しました。チームは、家族、仕事、そしてアイスホッケーという3つのキャリアを、順番にバランスよくこなしていく方法を理解しています。チームはもう一歩前進する準備ができており、負けよりも勝ちに向かって突き進んでいます。

過去2年間、横浜 GRITS のヘッドコーチを務めることができ、とても誇りに思っています。そして、新しいヘッドコーチのもとでチームが成長するのを見ながら、これからも誇りに思うことでしょう。

御子柴さん（GRITS スポーツイノベーションズ取締役、マイク氏の高校時代の旧友で、マイク氏を横浜 GRITS へ迎え入れた）には、横浜 GRITS の初代ヘッドコーチという荣誉と、横浜 GRITS のエグゼクティブ・アドバイザーという新しい役職を与えていただいたこと、非常に感謝しています。

これからもチームがチャンピオンへ前進することを期待しています。

最後になりましたが、リーグの常識を覆し、氷上以外での仕事のキャリアを追求しながらプレーしたいという選手のために、新しい道を切り開こうとしている横浜 GRITS に信頼を寄せてくださったファンの皆さまに、深く感謝申し上げます。横浜 GRITS に関わった全ての方々による献身に感謝し、ここ横浜でチャンピオンシップを追求する素晴らしい旅に参加していただくことに感謝いたします。

敬具